

部会企画

第 26 回 「野生生物と社会」学会 岐阜大会 部会企画

2021 年 11 月 4 日 (木)

行政部会企画

14 時 00 分~16 時 00 分

鳥獣行政に必要な人材の配置と育成ー鳥獣担当職員配置の光と影ー

山端 直人 (兵庫県立大学)・近藤 麻実 (秋田県自然保護課)・

森元 萌弥 (NPO 法人 WildlifeServiceJapan)

2021 年 11 月 5 日 (金)

青年部会企画

19 時 00 分~21 時 00 分

Speed talk session ~学生・若手の研究交流会~

鳥獣行政に必要な人材の配置と育成—鳥獣担当職員配置の光と影—
Allocation and training of human resources necessary for Wildlife management
- Light and Shadow of Staffing for Wildlife management-

山端 直人・近藤 麻実・森元 萌弥

Naoto Yamabata, Mami Kondo, Tomoya Morimoto

1. 趣旨

全国で依然として獣害は深刻化・複雑化している。これらの背景には野生動物の個体数増加のみならず、農山村の人口減少や農業生産力や地域の活力低下など、複雑な社会の問題が関与すると考えられる。これら複雑化した課題を解決するためには通常の行政職員では対応が困難であり、県や市町村に鳥獣問題の専門的人材の配置を求める声が高まっている。そして、一部の自治体では鳥獣対策員等の専門的人材を配置する事例も増えつつある。専門的職員の配置により、当該自治体の鳥獣問題改善に大きな効果があったという成果も聞かれ、これらの試みは我が国の鳥獣対策にとって大きな変化と言える。一方、その財源や人材の確保など、多くの自治体には困難と思われる課題や、研修制度の整備不足や身分保障が不十分なことなど、種々の課題の存在も聞かれる。

そこで、本セッションでは、自治体での専門的職員として活動する、あるいはその経験を有する識者から専門職を配置する自治体の政策的な経緯や実態、改善が必要な課題などを紹介いただき、人材をどのように確保・配置し、鳥獣対策の最前線の支援方法を議論する。

2. 講演者と講演タイトル

趣旨説明と解題 山端直人（兵庫県立大学）

話題提供1 行政研究部会でのアンケートと岐阜県の事例：

森元 萌弥（特非 WildlifeServiceJapan）

話題提供2 都道府県に必要な人材とは？—秋田の事例・北海道の事例：

近藤 麻実（秋田県自然保護課）

話題提供3 「ふつう」の市職員が鳥獣担当6年目を迎えて（仮）：

青山 真（鹿角市農地林務課）

話題提供4 福知山市役所の鳥獣専門職配置の背景と専門職員の活動から見えるもの

余田 学（福知山市役所農林業振興課 林務・畜産担当課長）

望月 優（ 〃 畜産・有害鳥獣対策係鳥獣対策員（主査））

総合討論

Speed talk session ～学生・若手の研究交流会～

1. 趣旨

青年部会では、学会大会での発表ができるほどの定まった研究成果はないが、自身の研究内容や研究過程を発表したい卒論生や修士2年生をはじめとする学部生や大学院生を対象とした企画を行います。本企画は、参加者から研究内容に関する簡単な発表、グループに分かれ研究に関する相談や質問、疑問の時間の2部構成です。本企画は、研究に意欲的な学生の交流の場を提供することを通し、研究モチベーションの向上や研究内容のブラッシュアップに貢献することを目的としています。